

# DCダイワ中小型株ファンド

## 運用報告書（全体版） 第15期

（決算日 2020年8月31日）

（作成対象期間 2019年8月30日～2020年8月31日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の中小型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ中小型株マザーファンドの受益証券
	ダイワ中小型株マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）している中小型株式
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス(配当込み)		株 組入比率	株 先物比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期末(2016年8月29日)	15,718	0	△ 6.6	631.70	△12.4	97.3	—	324
12期末(2017年8月29日)	20,908	0	33.0	813.98	28.9	95.4	—	442
13期末(2018年8月29日)	23,947	0	14.5	892.01	9.6	91.9	—	889
14期末(2019年8月29日)	21,065	0	△12.0	762.51	△14.5	91.9	—	661
15期末(2020年8月31日)	31,063	0	47.5	843.44	10.6	92.3	—	789

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約50%を占めます。

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社およびRussell Investmentsに帰属します。なお、野村證券株式会社およびRussell Investmentsは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当該インデックスを用いて行なわれる委託会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注4) 株および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス（配当込み）です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：21,065円

期末：31,063円（分配金0円）

騰落率：47.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の株式に投資した結果、国内株式市況が上昇したことから、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ベンチマークとの差異について」をご参照ください。

DCダイワ中小型株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス(配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
(期首) 2019年 8月29日	円	%			%	%
	21,065	—	762.51	—	91.9	—
8月末	21,430	1.7	774.74	1.6	93.7	—
9月末	22,405	6.4	823.93	8.1	95.1	—
10月末	23,635	12.2	867.37	13.8	95.5	—
11月末	24,860	18.0	886.61	16.3	96.9	—
12月末	25,921	23.1	897.40	17.7	94.4	—
2020年 1月末	24,951	18.4	864.82	13.4	93.3	—
2月末	21,516	2.1	761.53	△ 0.1	91.3	—
3月末	20,291	△ 3.7	722.26	△ 5.3	94.5	—
4月末	24,181	14.8	754.91	△ 1.0	94.2	—
5月末	27,031	28.3	818.70	7.4	96.1	—
6月末	29,677	40.9	814.73	6.8	93.7	—
7月末	28,769	36.6	777.09	1.9	94.0	—
(期末) 2020年 8月31日	31,063	47.5	843.44	10.6	92.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019.8.30~2020.8.31)

### ■国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、米国が連続利下げを実施したことで過度な景気後退懸念が和らいだことや、米中間で通商問題の部分合意がなされたことなどが好感され、上昇しました。しかし2020年1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され下落したことに続き、2月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、3月に入ると米国において感染者の増加が目立ち始めたほか、国内においても感染者の急激な増加が懸念される状況となり、株価は2月後半から3月中旬にかけて大幅に下落しました。3月下旬以降は、主要国の中央銀行による金融緩和策を受けて株価は上昇に転じました。新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトしてきた欧米で経済活動の再開が進展したことや、国内でも5月下旬に緊急事態宣言が全面解除されたことなどが好感されました。しかし6月中旬以降は、米国において新型コロナウイルスの感染拡大が再び懸念され、株価は頭打ちとなりました。7月には、国内における感染拡大が再び目立ち始めたほか、米国の雇用回復への不透明感もあり、7月下旬に株価は再度下落したものの、8月に入ると、ワクチンへの期待の高まりや米国の緩和的な金融政策の長期化期待により、株価は反発しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ中小型株マザーファンド

足元の相場環境におきましては、中国の景気対策の効果が期待されることや、半導体など一部の製品に底打ち感が出てきたことなど明るい材料も見られますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）議長が追加利下げについて慎重な姿勢を示したこと、ブレグジット（英国のEU（欧州連合）離脱）問題など欧州の政治経済状況に不透明感が高まっていること、引き続きグローバルでの景気指標は軟調なものが多いことなどから、やや慎重なスタンスで臨みます。

このように楽観し難い相場展開を想定しておりますが、個別企業に視点を移せば、投資期間から収穫期に入る企業、能力の高い経営者が経営している企業など、魅力的な企業は数多く存在していると考えています。また日本社会は、次世代通信規格によるサービス開始や少子高齢化社会の本格到来などから大きく変革すると予想しております。これらの魅力的な企業、社会の産業構造の変化の恩恵を受ける企業に積極的に投資を行うことによって、基準価額の上昇は十分に狙えると考えております。

## ポートフォリオについて

(2019.8.30~2020.8.31)

## ■当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

## ■ダイワ中小型株マザーファンド

株式組入比率については、当作成期を通じて80~99%程度で推移させました。

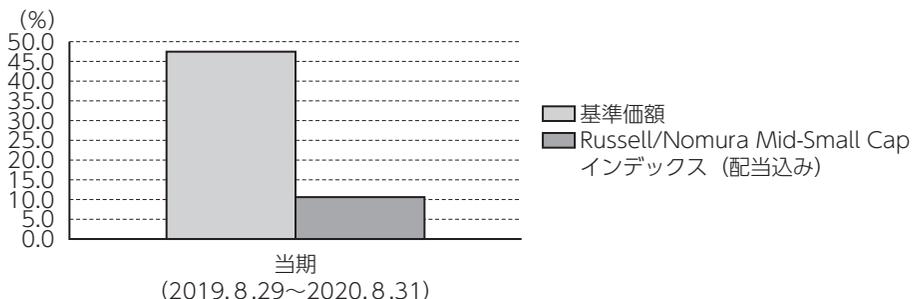
個別銘柄の選別においては、常時、①業績の伸びが期待できる銘柄、②割安な銘柄、③テーマ・将来性のある銘柄といった3つの観点から行っております。当作成期におきましては、特に業績の伸びが期待できる銘柄およびテーマ・将来性のある銘柄を中心に選別を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマーク（Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス（配当込み））の騰落率は10.6%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は47.5%となりました。

個別銘柄では、ラクスルやゼンリンなどマイナス要因となった銘柄もありますが、マクアケや弁護士ドットコムなどがプラスに寄与した結果、超過収益を得ることができました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年8月30日	2020年8月31日
当期分配金（税込み）（円）	—	
対基準価額比率（％）	—	
当期の収益（円）	—	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	21,062	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ中小型株マザーファンド

米国大統領選挙の行方や米中関係など不透明感が強い状況にあり、また世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が継続していることもあって、経済活動回復のスピードは当初想定していたよりも緩やかです。一方、世界各国の中央銀行の超緩和的な金融政策の影響などから良好な需給環境が継続しており、ワクチン開発への期待感があることなどから、株式市場は一進一退の展開を想定しております。

このような環境の中、有望な銘柄を発掘しパフォーマンスの改善に努めてまいります。具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により恩恵を受ける通販、宅配サービス、テレワーク、通信教育などの銘柄や、5G（第5世代移動通信システム）をはじめとしたインフラ（社会基盤）投資関連銘柄、健康意識の高まりにより恩恵を受けるヘルスケア関連銘柄、アウトドア関連銘柄などに着目してまいります。

それ以外では、独自の製品・サービス等により中長期での成長が期待される銘柄、親子上場解消の動きから被買収企業となりそうな銘柄、自己株式の取得や増配など株主還元強化が期待される銘柄などにも着目し銘柄選定を行ってまいります。また、大幅に上昇した銘柄を売却し株価に出遅れ感のある銘柄との入れ替えを行う予定です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.8.30~2020.8.31)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	422円	1.678%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は25,156円です。
(投 信 会 社)	(200)	(0.795)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(200)	(0.795)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(22)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	295	1.173	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(295)	(1.173)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	719	2.857	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

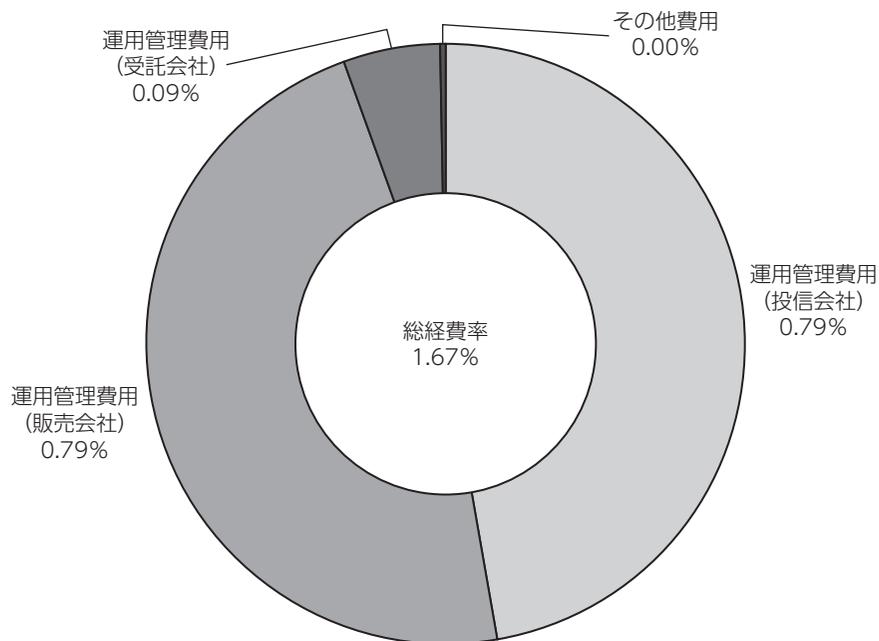
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## DCダイワ中小型株ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ中小型株マザーファンド	64,690	231,928	109,583	392,735

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

項 目	当 期
	ダイワ中小型株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	9,604,614千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,069,961千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	8.97

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
株式	百万円 4,702	百万円 997	% 21.2	百万円 4,902	百万円 1,138	% 23.2
コール・ローン	13,803	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合62.4%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

種 類	当 期
	ダイワ中小型株マザーファンド
	買 付 額
株式	百万円 4

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

#### (4) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	8,376千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,886千円
(B)÷(A)	22.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	評 価 額
	口 数	口 数	
	千口	千口	千円
ダイワ中小型株マザーファンド	220,658	175,766	788,611

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年8月31日現在

項 目	当 期 末	評 価 額	比 率
	千円		
ダイワ中小型株マザーファンド	788,611		98.9
コール・ローン等、その他	8,418		1.1
投資信託財産総額	797,030		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月31日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	797,030,164円
コール・ローン等	8,418,999
ダイワ中小型株マザーファンド(評価額)	788,611,165
(B) 負債	7,597,630
未払解約金	1,790,302
未払信託報酬	5,788,198
その他未払費用	19,130
(C) 純資産総額(A-B)	789,432,534
元本	254,141,603
次期繰越損益金	535,290,931
(D) 受益権総口数	254,141,603口
1万口当り基準価額(C/D)	31,063円

\*期首における元本額は314,049,528円、当作成期間中における追加設定元本額は159,884,570円、同解約元本額は219,792,495円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は31,063円です。

## ■損益の状況

当期 自2019年8月30日 至2020年8月31日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,312円
受取利息	530
支払利息	△ 1,842
(B) 有価証券売買損益	214,485,301
売買益	286,978,487
売買損	△ 72,493,186
(C) 信託報酬等	△ 11,911,279
(D) 当期損益金(A + B + C)	202,572,710
(E) 前期繰越損益金	△ 17,170,902
(F) 追加信託差損益金	349,889,123
(配当等相当額)	( 185,745,602)
(売買損益相当額)	( 164,143,521)
(G) 合計(D + E + F)	535,290,931
次期繰越損益金(G)	535,290,931
追加信託差損益金	349,889,123
(配当等相当額)	( 185,745,602)
(売買損益相当額)	( 164,143,521)
分配準備積立金	185,403,120
繰越損益金	△ 1,312

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	169,858,909
(c) 収益調整金	349,889,123
(d) 分配準備積立金	15,544,211
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	535,292,243
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	535,292,243
(h) 受益権総口数	254,141,603口

## 《お知らせ》

## ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

## ダイワ中小型株マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（DCダイワ中小型株ファンド）が投資対象としている「ダイワ中小型株マザーファンド」の決算日（2020年3月30日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年8月31日）現在におけるダイワ中小型株マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ中小型株マザーファンドの主要な売買銘柄 株 式

(2019年8月30日から2020年8月31日まで)

買		付			売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価		
	千株	千円	円		千株	千円	円		
AI INSIDE	5.9	129,947	22,024	アドバンテスト	22.3	105,943	4,750		
ラクスル	33.5	93,297	2,785	弁護士ドットコム	15.4	99,986	6,492		
弁護士ドットコム	16.9	82,882	4,904	AI INSIDE	4.8	97,081	20,225		
アドバンテスト	15.3	69,884	4,567	レーザーテック	11.5	87,794	7,634		
GA TECHNOLOGIES	20.2	67,752	3,354	ラクスル	30	81,864	2,728		
メルカリ	24.3	60,466	2,488	GA TECHNOLOGIES	22	75,723	3,441		
リックソフト	10.9	56,981	5,227	ワークマン	8.2	65,434	7,979		
CHATWORK	44.4	56,790	1,279	メドレー	21.2	65,234	3,077		
RS TECHNOLOGIES	16.5	53,466	3,240	リックソフト	11.7	64,725	5,532		
ソースネクスト	109	52,157	478	CHATWORK	44.4	63,231	1,424		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2020年8月31日現在におけるダイワ中小型株マザーファンド（292,213千口）の内容です。

国内株式

銘柄	2020年8月31日現在		銘柄	2020年8月31日現在		銘柄	2020年8月31日現在		
	株数	評価額		株数	評価額		株数	評価額	
<b>食料品 (1.6%)</b>	千株	千円	ヴィンクス	千株	千円	ジェイ・エス・ビー	千株	千円	
寿スピリッツ	1.5	7,350	GMOクラウド	11.4	13,429	GA TECHNOLOGIES	3.5	9,845	
エスピー食品	1.1	5,082	ギガプライズ	3.1	27,125	シノケングループ	0.9	6,291	
ハウス食品G本社	1.9	6,802	Aiming	3.5	4,896	<b>サービス業 (16.5%)</b>	7.8	7,495	
<b>化学 (3.1%)</b>			ネオジャパン	7.3	5,146	アイティメディア			
日本曹達	4.4	13,244	ダブルスタンダード	7.6	21,036	ビーネックスグループ	6.7	17,038	
新日本製薬	2.9	7,583	オープンドア	0.7	3,230	ギグワークス	11.3	12,723	
メック	2	3,696	カナミックネットワーク	9.8	13,435	リゾートトラスト	2	3,662	
日本高純度化学	2.2	5,808	イノベーション	8	6,664	クリーク・アンド・リバー社	9.3	14,043	
日本農薬	10.5	5,239	シェアリングテクノロジー	0.7	2,516	エフアンドエム	5	6,045	
ウェーブロックHLDGS	2.5	1,947	すららネット	34	13,532	弁護士ドットコム	5.4	6,939	
<b>ゴム製品 (0.6%)</b>			プロトコーポレーション	1.3	7,527	シグマクス	1.6	17,360	
TOYO TIRE	4.2	7,421	Jストリーム	9	10,971	レアジョブ	9.3	12,899	
<b>ガラス・土石製品 (0.2%)</b>			ラクスル	0.5	2,002	アトラエ	4.9	12,470	
日本コンクリート	9.5	2,650	メルカリ	12.2	38,064	キャリアインデックス	3.9	13,279	
<b>鉄鋼 (0.1%)</b>			スマレジ	5.2	25,012	マネジメントソリューションズ	28.5	13,423	
東京鐵鋼	1	1,571	ミンカブ・ジ・インフォノイト	1.5	5,692	プロレド・パートナーズ	2.5	2,770	
<b>金属製品 (1.3%)</b>			ギフティ	7.3	13,519	識学	6.6	37,356	
トーカロ	7.6	8,109	BASE	9	22,608	グッドパッチ	5.4	7,014	
RS TECHNOLOGIES	2.4	7,548	マクアケ	1	9,130	KIYOラーニング	3	6,918	
<b>機械 (5.4%)</b>			AI INSIDE	3.2	33,600	東京都競馬	1.3	9,022	
FUJI	6.5	12,389	ピザスク	1.1	49,940		1.5	7,350	
NITTOKU	3.9	12,733	ジャストシステム	1.7	5,312				
オプトラン	2.7	5,694	ワイヤレスゲート	4.8	38,976				
平田機工	3.5	21,280	光通信	10	8,260				
タツモ	6.6	9,075	<b>卸売業 (2.9%)</b>	0.4	10,248				
竹内製作所	1.9	4,227	ダイワボウHD	1.7	10,846				
<b>電気機器 (10.7%)</b>			農業総合研究所	15	7,770				
イビデン	4.5	14,962	白銅	2.7	3,161				
ヤーマン	6.5	9,048	コパ・コーポレーション	1.7	13,685				
日新電機	6	6,756	<b>小売業 (6.6%)</b>						
ルネサスエレクトロニクス	21.5	14,340	セリア	1.5	7,020				
アンリツ	10.3	23,834	ハニーズホールディングス	6.1	6,923				
TDK	1.2	13,212	物語コーポレーション	0.7	6,391				
santec	7.1	13,482	マーケットエンタープライズ	5.5	15,273				
AKIBAホールディングス	1.1	5,258	ネクステージ	2	2,036				
アドバンテスト	1.1	5,577	ワークマン	1.3	11,882				
日本マイクロニクス	13.5	14,688	ギフト	4.5	6,304				
大真空	1.7	2,920	日本KFCホールディング	8.5	24,667				
太陽誘電	1.9	5,426	<b>保険業 (0.7%)</b>						
<b>その他製品 (2.6%)</b>			ライフネット生命保険	5.3	8,220				
スノーピーク	2.9	4,413	アドバンスクリエイト	0.3	644				
ニホンフラッシュ	19.6	27,381	<b>その他金融業 (3.4%)</b>						
<b>情報・通信業 (39.4%)</b>			Casa	2.8	3,105				
出前館	11.5	26,553	プレミアグループ	5.7	11,206				
パピレス	12	32,640	イー・ギャランティ	11.7	26,348				
ブレインパッド	1.5	5,850	<b>不動産業 (4.8%)</b>						
エニグモ	4.3	6,677	ツクルバ	5.5	5,423				
ガンホー・オンライン・エンター	6	13,140	オープンハウス	7.6	28,614				
						<b>合計</b>	株数、金額	577.8	1,210,958
							銘柄数<比率>	103銘柄	<92.4%>

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ中小型株マザーファンド

## 運用報告書 第15期 (決算日 2020年3月30日)

(作成対象期間 2019年3月29日～2020年3月30日)

ダイワ中小型株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

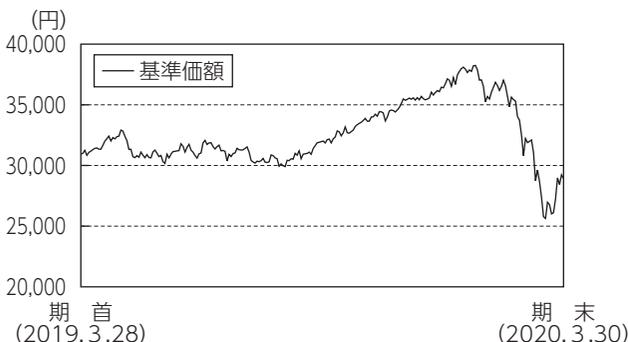
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）している中小型株式
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス (配当込み)		株式比率	株式比率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首)2019年3月28日	30,925	-	830.46	-	93.3	-
3月末	31,009	0.3	835.67	0.6	91.6	-
4月末	32,833	6.2	843.14	1.5	95.6	-
5月末	30,825	△ 0.3	779.59	△ 6.1	95.5	-
6月末	31,024	0.3	797.74	△ 3.9	95.8	-
7月末	31,409	1.6	804.17	△ 3.2	94.2	-
8月末	30,427	△ 1.6	774.74	△ 6.7	94.0	-
9月末	31,858	3.0	823.93	△ 0.8	95.2	-
10月末	33,657	8.8	867.37	4.4	95.6	-
11月末	35,451	14.6	886.61	6.8	97.0	-
12月末	37,018	19.7	897.40	8.1	94.5	-
2020年1月末	35,683	15.4	864.82	4.1	93.4	-
2月末	30,805	△ 0.4	761.53	△ 8.3	91.4	-
(期末)2020年3月30日	28,925	△ 6.5	738.94	△ 11.0	95.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約50%を占めます。Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社およびRussell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社およびRussell Investmentsは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当該インデックスを用いて行なわれる委託会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注4) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】  
期首：30,925円 期末：28,925円 騰落率：△6.5%

【基準価額の主な変動要因】

わが国の株式に投資した結果、国内株式市況の下落を反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 国内株式市況

国内株式市況は、当作成期首より、世界的な景気減速懸念と米中商協の進展期待などが交錯し、横ばい圏で推移しました。

2019年5月に入ると、米国が中国製品への関税率の引き上げや対象範囲の拡大方針を発表したこと、また中国の通信機器大手メーカーに対する取引制限措置を実施したことなどにより不透明感が高まり、株価は下落しました。下落一巡後は、世界景気の動向などに不透明感がある中で、6月末に開催された米中首脳会談で一定の関係改善が見られたことや米国の利下げ期待が支えとなり、株価は底堅く推移しました。その後8月には、米国が再び対中追加関税の対象を拡大する方針を表明したことが嫌気され株価は下落したものの、9月以降は、米国が連続利下げを実施したことで過度な景気後退懸念が後退したことや、米中間で通商問題の部分合意がなされたことなどが好感され、株価は上昇しました。しかし2020年1月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染が拡大したことに続き、2月後半には中国以外における感染拡大が懸念されたことや米国株が大幅下落となったことが嫌気され、大きく下落しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

足元、業績下方修正を発表する企業が増加傾向にあり、株価の反発は実体経済に比べてやや期待先行の感が強く引き続きリスク要因に注意が必要な状況にあります。ただし、2018年末にかけての株価急落で過度に割安水準まで売り込まれている銘柄が多数存在しバリュエーション面で割安感が強い銘柄が増えたことや、今後中国経済の底入れや金利低下による景気下支え効果などが期待され徐々に回復感が出てくることなどが想定されることなどから、基本的には堅調な相場展開の継続を想定します。

このような環境の中、アナリストの協力のもと、景気動向にかかわらず成長が期待される銘柄やテーマ性のある銘柄など引き続き有望な銘柄の発掘に努めてまいります。具体的には、業務効率化・省人化・AI（人工知能）・ロボット関連の銘柄や5G（第5世代移動通信システム）、再生医療関連など今後の成長が期待される銘柄に着目してまいります。それ以外では、独自の製品・サービス等により中長期での成長が期待される銘柄、株価が大幅に下落し割安となった銘柄、自己株式の取得や増配など株主還元強化が期待される銘柄などにも着目し、銘柄選定を行ってまいります。

◆ ポートフォリオについて

株式組入比率は、80%程度以上の高位を維持しました。業種構成は、情報・通信業や小売業などの比率を引き上げた一方、サービス業や機械などの比率を引き下げました。個別銘柄では、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を鑑み、モデルレーやH E N N G E などの組入比率を引き上げました。

◆ ベンチマークとの差異について

ベンチマーク（Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス (配当込み)）の騰落率は△11.0%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は△6.5%となりました。ベンチマークより健闘した背景として、個別銘柄の選択による効果が挙げられます。個別銘柄では、レーザテック、レアジョブ、アドバンステックがプラス要因となりました。

《今後の運用方針》

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、世界的に株価は大幅に下落しましたが、中国での新規の感染者数は減少し回復者数は大幅に増加していますが、韓国、イラン、イタリアなどで急速に感染者数が増加しているほか、北米でも感染が拡大しており予断を許さない状況です。短期的には、感染の拡大を防ぐための経済活動への影響は避けられない状況にあります。

世界各国で株価が大幅に下落し新型コロナウイルスの影響を大きく織り込みつつある中で、今後は景気下支えのために世界各国が協同的な政策を採る可能性が高まっています。また、中国での生産活動の急速な回復などが下支え要因となることを期待されますが、さらなる感染の拡大の可能性もあり、相場は底値を模索し値動きの荒い展開となることと想定しております。

このような環境の中、業績やバリュエーションにかかわらずほぼ全面安の状況となっていることから、有望な銘柄を発掘しパフォーマンスの改善に努めてまいります。具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により恩恵を受けるインターネット通販、宅配サービス、テレワーク、通信教育、ゲーム関連銘柄などや、業務効率化・省人化・AI（人工知能）・ロボット関連銘柄、5G（第5世代移動通信システム）、防災などのインフラ（社会基盤）投資関連銘柄などに着目してまいります。

# ダイワ中小型株マザーファンド

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	380円 (380)
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 ( 0)
合計	380

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

### 株式

(2019年3月29日から2020年3月30日まで)

	買付		売付	
	株数	金額	株数	金額
国内	千株 3,075.6 ( 29.46)	千円 5,083,081 (—)	千株 2,982.66	千円 5,243,836

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 株式

(2019年3月29日から2020年3月30日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価		
アドバンテスト	千株 31.9	千円 109,051	円 3,418	アドバンテスト	千株 38.8	千円 134,689	円 3,471		
ラクスル	28.2	92,173	3,268	チームスピリット	35.9	101,400	2,824		
リックソフト	10.3	77,504	7,524	ワークマン	13.8	91,877	6,657		
GA TECHNOLOGIES	23.4	74,504	3,183	カオナビ	12.6	84,154	6,678		
弁護士ドットコム	15.5	71,052	4,584	レーザーテック	15.1	83,686	5,542		
カオナビ	11.1	69,583	6,268	ラクスル	29.1	80,146	2,754		
太陽誘電	30	67,607	2,253	太陽誘電	33	77,484	2,348		
ヤマシンフィルタ	78.8	60,874	772	santec	45.6	76,386	1,675		
AI INSIDE	3.3	60,463	18,322	弁護士ドットコム	15.4	74,061	4,809		
SHIFT	11.2	55,143	4,923	レアジョブ	30	72,627	2,420		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### 国内株式

銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末		
	株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額
建設業 (-)	千株	千株	千円				レック	千株	千株	千円				RS TECHNOLOGIES	千株	千株	千円			
コムシスホールディングス	1.9	—	—				未来工業	—	21.4	23,647				機械 (4.3%)	—	0.5	1,025			
フィル・カンパニー	5.4	—	—				医薬品 (2.4%)	0.5	—	—				ツガミ	15	—	—			
食料品 (0.7%)							ロート製薬	—	6.5	20,150				オプトラン	5.2	12	29,628			
エスピー食品	—	0.3	1,212				栄研化学	4.4	—	—				フリュー	11	—	—			
北の達人コーポ	—	9.2	4,986				そーせいグループ	20	—	—				ヤマシンフィルタ	12	—	—			
パルプ・紙 (-)							ペプチドリーム	1.3	—	—				タツモ	—	4.6	4,678			
ハビックス	0.5	—	—				ミズホメディー	2.2	—	—				ナブテスコ	8.9	—	—			
化学 (4.4%)							ガラス・土石製品 (1.4%)							カワタ	—	3	2,115			
トクヤマ	4.3	—	—				日本コンクリート	—	44	11,660				ダイフク	4.6	—	—			
ステラケミファ	3.9	—	—				MIPOX	17	—	—				電気機器 (9.6%)						
田岡化学	1.1	—	—				鉄鋼 (0.3%)							イビデン	—	4.4	10,221			
タキロンシーアイ	13	—	—				新日本電工	—	18	2,790				HPCシステムズ	—	3.1	4,966			
第一工業製薬	2.5	—	—				非鉄金属 (-)							ダブル・スコープ	10.7	—	—			
東洋合成工業	—	0.4	1,580				三井金属	2.1	—	—				アンリツ	—	13.2	26,901			
メック	6	—	—				金属製品 (0.1%)							santec	14.7	—	—			
日本高純度化学	1.2	2.4	5,892				トーカロ	—	0.1	99				精工技研	4.1	0.7	1,348			
日本農薬	—	10.5	4,557				SUMCO	—	0.1	138				アドバンテスト	11.3	4.4	18,898			
有沢製作所	—	2.3	1,883				川田テクノロジーズ	0.9	—	—				日本マイクロニクス	—	12	9,240			

銘柄	期首当期末			銘柄	期首当期末			銘柄	期首当期末		
	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額		株数	株数	評価額
	千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円
レーザーテック	8	-	-	AI INSIDE	-	0.5	7,485	シンメンテホールディングス	3.9	-	-
山一電機	-	6.3	8,523	ジャストシステム	-	5.9	28,556	メドピア	3	-	-
大真空	-	1.4	2,042	サイボウズ	-	5.5	9,608	レアジョブ	2.1	-	-
太陽誘電	3	-	-	日本コンピュータ・ダイナ	10.5	-	-	アトラエ	7	-	-
輸送用機器 (-)				東映アニメーション	4.4	-	-	キャリアインデックス	-	23.7	6,327
IJTT	4	-	-	ファイバーゲート	-	9.7	10,233	神戸天然物化学	6.8	-	-
精密機器 (-)				スクウェア・エニックス・HD	1.5	2	9,690	コンヴァノ	8.5	-	-
日本エム・ディ・エム	1.9	-	-	福井コンピュータHLDS	5.7	-	-	プロレド・パートナーズ	-	6.7	20,703
島津製作所	4	-	-	<b>卸売業 (2.2%)</b>				燦ホールディングス	4.7	6.5	8,300
ジーエルサイエンス	3	-	-	神戸物産	5.6	2.1	9,219	ベネッセホールディングス	0.4	-	-
メニコン	5	-	-	あいホールディングス	-	0.1	134	ニチイ学館	2.5	-	-
ニプロ	8.8	-	-	cotta	-	21.2	4,600				
<b>その他製品 (2.4%)</b>				小野建	3.6	-	-				
ニホンフラッシュ	-	17.6	17,969	白銅	-	3.9	4,699	合計	株数、金額	501.3	623.7
フルヤ金属	-	0.6	2,823	<b>小売業 (11.8%)</b>				株数<比率>	89銘柄	87銘柄	853,110
パンダナムコHLDS	0.7	-	-	MonotaRO	-	3.2	9,081				
<b>電気・ガス業 (2.8%)</b>				マーケットエンタープライズ	-	6	10,128				
レノバ	-	26	23,842	オイシックス・ラ・大地	-	11.2	16,788				
<b>陸運業 (2.3%)</b>				コスモス薬品	-	1.4	36,400				
SBSホールディングス	-	6.5	11,713	串かつ田中HLDS	5	-	-				
サカイ引越センター	0.5	-	-	パンパシフィックHD	1.6	4.7	9,672				
セイノーホールディングス	15.2	-	-	ワークマン	6.8	-	-				
丸和運輸機関	-	3	7,578	薬王堂ホールディングス	-	3.9	9,523				
<b>情報・通信業 (37.0%)</b>				サンドラッグ	-	2.7	9,463				
NECネットエスアイ	-	4.2	18,270	<b>証券、商品先物取引業 (-)</b>							
デジタルアーツ	-	0.5	2,285	SBIホールディングス	1.5	-	-				
パピレス	-	12	19,284	<b>保険業 (2.5%)</b>							
エムアップ	-	0.4	854	ライフネット生命保険	-	29.7	18,265				
エニグモ	2.3	16.6	13,379	アドバンスクリエイト	-	1.7	2,844				
オプティム	-	2.5	5,120	<b>その他金融業 (6.0%)</b>							
SHIFT	0.5	-	-	Casa	-	16.8	15,657				
ギガプライズ	2.2	6.5	5,531	プレミアグループ	-	7.4	11,203				
朝日ネット	-	3.5	2,418	リコーリース	2	-	-				
クラウドワークス	-	0.1	68	イー・ギャランティ	-	16.1	23,924				
メディカル・データ・ビジ	2.6	-	-	<b>不動産業 (2.4%)</b>							
ALBERT	0.2	-	-	ケイアイスター不動産	1	-	-				
テラスカイ	-	3.8	9,222	ティーケーピー	1.7	-	-				
ダブルスタンダード	-	5.5	20,845	ジェイ・エス・ピー	-	2.3	9,568				
オープンドア	2.5	-	-	GA TECHNOLOGIES	0.5	2.1	4,708				
マイネット	-	19.7	12,805	毎日コムネット	-	6.6	5,068				
チェンジ	-	0.1	281	シノケングループ	-	1.8	1,360				
ユーザベース	1	-	-	<b>サービス業 (7.4%)</b>							
エイトレッド	-	4.2	4,964	幼児活動研究会	7.8	-	-				
うるる	10.1	-	-	学情	-	0.1	127				
UUUM	7	-	-	スタジオアリス	-	4	6,284				
PKSHA TECHNOLOGY	2.4	-	-	新日本科学	12.5	-	-				
マネーフォワード	6.6	-	-	エムスリー	-	3	9,105				
ラクスル	1.2	0.3	680	ヒビノ	2.7	-	-				
メルカリ	13.6	14.6	30,995	バリューコマース	10.6	-	-				
チームスピリット	11.2	-	-	プレステージ・インター	2	4.8	3,859				
イーンソル	10	-	-	アミューズ	10	-	-				
リックソフト	-	2.4	9,912	ブロードメディア	30	-	-				
カオナビ	1.5	-	-	サイバーエージェント	6.3	-	-				
ミンガブ・ジ・インフォノイト	-	34	28,186	エン・ジャパン	0.4	-	-				
CHATWORK	-	9.9	10,424	弁護士ドットコム	-	0.1	399				
HENNGE	-	7.7	21,098	アイ・アルジャパンHD	-	0.1	608				
マクアケ	-	1.9	5,966	Keeper 技研	-	5.9	7,398				
メドレー	-	12.7	26,060	ファーストロジック	4.9	-	-				
スペースマーケット	-	2.7	1,347	ベクトル	9.1	-	-				

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ中小型株マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2020年3月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	853,110	83.8
コール・ローン等、その他	164,634	16.2
投資信託財産総額	1,017,744	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月30日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,017,744,615円</b>
コール・ローン等	47,864,424
株式(評価額)	853,110,400
未収入金	112,112,451
未収配当金	4,657,340
<b>(B) 負債</b>	<b>120,340,331</b>
未払金	110,070,331
未払解約金	10,270,000
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>897,404,284</b>
元本	310,253,273
次期繰越損益金	587,151,011
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>310,253,273口</b>
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>28,925円</b>

\* 期首における元本額は373,724,227円、当作成期間中における追加設定元本額は82,705,168円、同解約元本額は146,176,122円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ中小型株ファンドV A 113,170,597円、DCダイワ中小型株ファンド197,082,676円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は28,925円です。

### ■損益の状況

当期 自2019年3月29日 至2020年3月30日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>10,246,410円</b>
受取配当金	10,114,382
受取利息	82
その他収益金	162,530
支払利息	△ 30,584
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 64,075,845</b>
売買益	422,196,513
売買損	△486,272,358
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 591</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>△ 53,830,026</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>782,015,083</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△329,833,878</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>188,799,832</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>587,151,011</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>587,151,011</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。